

JPDA 3月定例理事会議事録

日 時：平成30年3月14日（水）午後1時30分～午後4時

場 所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

出席者：理事24名中20名（加藤芳夫、伊藤 透、井上 聡、牛島志津子、梅原 真、
江藤正典、小川裕子、小川 亮、加藤（桑）和美、小原 司、佐野暁子（文胡）、
竹内清高、中越 出、永島 学、永田麻美、中森恭平、藤田 隆、森 孝幹、
八木勇達、山崎 茂）

欠席4名（青木（入江）あずさ、畝野裕司、加藤憲司、信藤洋二）

監事2名中2名（池田 毅、時田秀久）

議事の経過：

定款第31条(議長)により加藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者22名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が加藤芳夫理事長、伊藤透副理事長、池田毅監事、時田秀久監事の4氏であることを確認し、議事に入る。（決裁事項の議案号数はゴシック。）

第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに法人2社より入会申込みがあり、定款6条（会員資格の取得）並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記法人2社の入会を承認した。

(1)法人会員（2社）

<東日本>

鹿目デザイン事務所（推薦者＝高橋 敏）

内野知財事務所（推薦者＝丸山 和子）

第2号議案 再入会審査の件

本日の理事会までに法人1社より再入会申込みがあり、定款6条（会員資格の取得）並びに会員規定に基づき再審査を行い、下記法人1社の再入会を承認した。

(1)法人会員（1社）

<東日本>

雪印メグミルク株式会社（平成13年12月末退会）

第3号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した個人会員4人の退会を承認した。

(1)個人会員（4人）

<東日本>

坂本 功（さかもと いさお）（仕事の内容が変わったため）

[30年3月末退会希望]

平尾 朋子（ひらお ともこ）（協会のイベント等への参加が難しくなったため）

[30年5月末退会希望]

<中日本>

今井 敏之（いまい としゆき）（仕事の内容が変わったため）

[30年2月末退会希望]

<西日本>

辻本 良雄（つじもと よしお）（デザイン活動から引退することになったため）

[30年3月末退会希望]

第4号議案 協会名義使用承認の件

本日の理事会までに下記2件の協会名義使用の依頼がありこれを承認した。

(1)後援名義の使用依頼（2件）

・「第86回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2018 LIFE×DESIGN」

（2018年8月29日（水）～9月1日（土） 東京ビッグサイト）

「第86回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2018」

（2018年9月4日（火）～7日（金） 東京ビッグサイト）

主催：いずれも株式会社ビジネスガイド社

・「インテリア ライフスタイル」

（2018年5月30日（水）～6月1日（金） 東京ビッグサイト）

主催：メッセフランクフルト ジャパン（株）

第5号議案 正副理事長報告

加藤理事長報告

- ・2/1 日経新聞社 「パッケージのトレンドについて」取材
- ・2/2 JPC（ジャパンパッケージングコンペティション）審査会に出席

[ご参考：授賞作品の一部]

- ・経済産業大臣賞：<洋菓子>（株）湖池屋、<化粧雑貨>花王（株）

- ・経済産業省 商務情報制作局長賞：＜一般飲料＞サントリー、
キリンビバレッジ(株)、＜化粧品＞(株)アルビオン
- ・(公社) JPDA 賞：＜化粧品＞(株)ポーラ ポーラV.リゾネティッククリーム
- ・(公社) 日本包装技術協会賞：＜一般雑貨＞花王(株)
- ・(公社) 日本マーケティング協会賞：＜贈答用品＞石屋製菓(株)
- ・(一社) 日本プロモーション・マーケティング協会賞：
＜健康食品＞(株)永谷園
- ・2/8 六耀社打合せ（第2回目）
- ・2/15 空間デザイン協会シンポジウムに出席
- ・2/17 中部デザイン協会講演会に出席
- ・2/20 山梨県産業技術センター主催の P. デザインセミナーで講演
- ・2/21 六耀社打合せ（第3回目）
- ・3/7～10 海外産業人材育成会（AOTS）主催の バンコックパッケージデザインセミナーに参加予定

伊藤副理事長報告

- ・2/8 六耀社打合せ（第2回目）
- ・2/15 空間デザイン協会シンポジウムに出席
- ・2/16 西日本勉強会と賀詞交歓会に出席（渡邊事務局長同行）
- ・2/21 六耀社打合せ（第3回目）

第6号議案 平成30年度事業計画（案）、及び、正味財産増減予算（案）の承認について

別紙資料に基づき、渡邊事務局長から標題案件についての提案があり、会員名簿を毎年作成すること・広報誌を年2回発行することの必要性と是非、アスパックからの受託事業（収益事業）が明確でないこと等の議論があったが、これらの課題については今後も引き続き議論を重ねていくこととし、提案内容については出席理事全員の賛同を得て承認された。今期の収益に関しては、公益事業でコンペティション事業と展覧会事業の収入はあるものの出版事業の収入がないこと、また、収益事業であるアスパック協会からの受託事業を主に12月のアスパックウィークに絞り込んだことから、全体で前年より863万円の減少となった。

一方、費用面では、公益事業の収益減による出版等の事業費用の減少、及び、収益事業の収益減に伴う制作費の減少により、全体で870万円の減少となった。

総合すると、経常収益は66,651,748円、経常費用は66,480,705円（内、公益事業は47,520,035円：公益比率71.5%）で、当期の経常増減額はプラス171,043円となった。

経常外増減の部では、退職給付積立金支出の500,000円と創立60周年記念公益事業積立金

2,000,000円を見込んでマイナス500,000円。経常増減と合わせた当期一般正味財産増減額はマイナス328,957円、一般正味財産期末残高は36,023,057円となった。

第7号議案 委員会報告

<決済事項> (以下の7委員会)

○東日本(新年デザイン交換会・賀詞交歓会)

伊藤副理事長より2018年新年デザイン交換会についての活動結果に加えて収支計算書の報告があり、

公益会計では収入168,000円、協会補助110,000円、支出130,067円、収支差額+147,933円を、法人会計では収入968,000円、協会補助0円、支出924,480円、収支差額+43,520円を承認した。

開催日時：平成30年1月31日(水) 18:30~21:00

開催場所：レストランアラスカ 日本プレスセンター内

出席者数：第一部 新春特別講座 112名

第二部 賀詞交歓会 190名(会員173名、新入会員6名、招待11名)

本年の新年デザイン会議・賀詞交歓会は昨年同様、日比谷公園を見下ろす「レストランアラスカ」にて開催。第一部の新春特別講座は人形浄瑠璃プロデューサー藤澤優(ふじさわゆたか)氏を招いて「文楽の基礎を学ぶ」と題した講演をいただいた。第二部の賀詞交歓会は加藤理事長の挨拶、経済産業省の藤原宗久良氏の来賓祝辞、日本空間デザイン協会会長の鈴木恵千代(すずきしげちよ)氏の乾杯をいただいた後、歓談に入り、活発な情報交換・交流を行った。また、新入会員の紹介も行われ、伊藤副理事長の中締め挨拶で会の幕を閉じた。200名近くの多彩な参加者の交流により新たな活力が期待できる会となった。

○西日本(勉強会「かたらう」Vol.3・新年交流会)

井上理事より勉強会「かたらう」及び、西日本新年交流会についての活動結果と収支計算書の報告があり、

公益会計では収入88,000円、協会補助125,000円、支出208,325円、収支差額+4,675円を、法人会計では収入190,000円、協会補助0円、支出190,000円、収支差額±0円を承認した。

開催日時：平成30年2月16日(金) 勉強会15:00~16:30 新年交流会17:30~19:30

開催場所：勉強会：メビック扇町 3階 交流スペース3

新年交流会：双龍居天満駅前店

出席者数：勉強会 56名(会員48名、一般8名)

新年交流会 38名

勉強会は、「現代美術二等兵の駄美術とデザイン」と題し、現代美術二等兵を自称するふじわらかつひと氏と籠谷シェーン氏お二人のユニットによる作品を紹介しながらのトークシ

ョーで、生活の身近にある駄菓子のような駄美術について楽しいお話しを語っていただいた。笑いの絶えないあつという間の1時間半であった。

交流会は勉強会会場の近くにある中華レストランに場所を移し、東京からは伊藤副理事長、渡邊事務局長、金沢からは畝野理事の参加も得て、楽しい東西交流のひとつきを過ごした。

○デザイン保護委員会（年間の事業活動収支計算書）

小川理事の出席が遅れていたため、渡邊事務局長よりデザイン保護委員会の昨年12月以降の事業活動と今年度通期の事業活動収支計算書3件（以下のa、b、c）の報告があり、全て承認された。

(a) HP上の委員会レポートページ（公益会計）

収入 0円、協会補助290,000円、支出210,000円、収支差額+80,000円

(b) D-8デザイン保護研究会への参加、知財セミナーを2回※実施（公益会計）

収入72,000円、協会補助165,000円、支出279,348円、収支差額 -42,348円

※知財セミナーは2017年6月1日（参加費@1,000円×72名）、2018年2月16日（参加費無料、受講者24名）の2回

(c) 特許庁公報検索初級向け資料作成（公益会計）

収入 0円、協会補助110,000円、支出48,462円、収支差額 +61,538円

○広報（年間2回の広報誌の発行）

活動内容についてはすでに永島理事から報告されていたので、渡邊事務局長より以下の収支計算書（公益会計）に関する報告があり、

収入 1,220,000円、協会補助1,760,000円、支出3,183,834円、収支差額-203,834円を承認した。

予算をオーバーしたのは、昨年亡くなられた重鎮会員の追悼ページが増刷されたことによるとの永島理事からの補足があった。

○アーカイブ（年間の事業活動収支計算書）

信藤理事、入江理事欠席のため、渡邊事務局長より通期の収支計算書（公益会計）に関する報告があり、

収入 0円、協会補助534,480円、支出323,480円、収支差額+211,000円を承認した。

○国際交流（ASPaCへのJPDA賞顕彰）

森理事の出席が遅れていたため、渡邊事務局長より以下の収支決算報告があり、

収入 0円、協会補助300,000円、支出300,000円、収支差額±0円を承認した。

○出版（年鑑出版・パッケージインデックスの企画制作）

山崎理事に代わり渡邊事務局長より以下3件の収支決算報告（公益会計）があり、3件とも承認された。

・「年鑑日本のパッケージデザイン2017」の出版（2017年5月発刊）

収入 5,284,440円、協会補助-486,160円、支出4,889,657円、収支差額-91,377円

- ・「PACKAGE DESIGN INDEX 2018」の企画制作（2018年5月発刊予定）

収入 14,056,200円、協会補助-1,309,708円、支出12,725,499円、収支差額+20,993円

- ・「日本パッケージデザイン大賞2017」巡回展（2017年5月：大阪成蹊大学、2017年9月～11月：印刷博物館の2カ所）

収入 0円、協会補助400,000円、支出209,688円、収支差額+190,312円

<報告事項（資料あり）>（5件）

○西日本

井上理事から、資料に沿って、2017年1月～12月に東西で開催された全てのJPDAのイベントについて、西日本での参加者からのアンケート（回答者36名）結果の報告があった。

- ・西日本で開催されたイベント（勉強会、討論会など）は概ね評価が高かった。
- ・全国規模のイベントでは、やはり西日本で開催されたJPDA展覧会「日本を包む」、しまんとデザイン会議、アスパック展覧会が参加者も多く評価も高かった。
- ・一方、東日本で開催されたイベントは、メルマガ等で案内していても、地理的、時間的なハードルが高いことから、ほとんど参加者がいないのが現状。
- ・今回のアンケート回答者の約1/6が非会員であることから、質の高いイベントは会員勧誘の絶好のチャンスになると考える。

引き続き梅原理事よりしまんとデザイン会議について、「現在なかなかできていない、会員間の交流の場がもてたのではないかと考えている。また、イベント終了後、市役所関係の出席者アンケート結果は1名を除いて好評価だったという報告を受けている。」という補足があった。

○コンペティション

小原理事から今年行われる「日本パッケージデザイン大賞2019」に向けた準備状況と今後のスケジュールについての報告があった。

- ・会員審査員（会員からの投票で選抜）は、一次42名・二次12名（一次42名のうち投票が多かった12名）の審査員がほぼ決定した。
- ・外部からの特別審査員4名は現在打診中。
- ・4月20日にWEBでの「応募要項」を開設し、5月一杯WEBからのオンライン入力による作品応募登録を受け付ける。審査会は8月下旬、贈賞式は2019年1月下旬の予定。

○展覧会

中森理事から前回の理事会で議論になった募集要項の最終案について、ビジュアルからの見直しを行った試作品による報告があったが、他の理事からはとくに異論はでなかった。

○インターネット

中越理事から配布資料に沿って、2/7～3/6会員専用ページで「日本パッケージデザイン大

賞2019」会員審査員投票ページを公開した事など、昨年11月からの各委員会サイトの更新状況についての報告とJPDA会員向けの「会員専用ページ」についての案内があった。

加えて、「毎回お話ししているが、最終情報確定までに時間がかかるイベントについては、段階的に確定情報を発信するような早めの掲載方法をお薦めしたい。また、終わった後の活動報告も速やかに出していただきたい」との発言があった。

桑理事より、アスパックウィーク等は誰がインターネット委員会との窓口になって、情報共有をしていくのか、3/26（月）のアスパックキックオフミーティングで明確にしていこうとの提案があった。

○国際交流（アスパック関連）

森理事から資料に沿ってアスパックの事業活動について以下の報告があった。

- ・12/2～7のアスパックウィークについては、2日（土）の決勝審査会に続き、3日（日）のデザインフォーラム・授賞式・レセプション（担当：国内交流委員会）、4日（月）の教育セミナー（担当：教育委員会）と展覧会場でのワークショップとテープカット（10日までの担当：展覧会委員会）、5日（火）の印刷博物館見学と原研哉JPDA特別講演会（担当：教育委員会）の企画・運営に関して、JPDA各委員会のご協力により無事終了することができた。とくにグッドデザイン丸の内で開催された展覧会は6日間で4,000人に迫る入場者を得て、先方より、今年も是非お願いしたいとの声をいただいている。

6日（水）は東京視察を兼ねたフリータイムの後、ブラビス様で企業研修・さよならパーティーを行い、海外からの学生は7日（木）に予定通り帰国して、アスパックウィークは成功裏に終了した。

- ・1月の大阪での展覧会も予定通り無事終了したが、その後に開催されたインドネシアでの最初の巡回展（ジャカルタUMN大学）は現地の政府関係者の来場もあり、大いに注目を浴びた展覧会であった。現在は次の開催地マレーシアに向けて作品が移動中である。
- ・今年度はJPDAからの働きかけもあり、フジシール様をはじめスポンサーのご協力が増えた年であった。あらためて皆さまのバックアップに感謝申し上げたい。

<報告事項（資料なし）>（1件）

○国内交流・東日本（東京デザイン会議・2019年賀詞交歓会）

桑理事から「2019年1月25日（金）に予定している東京デザイン会議については、3/22に会場の第一候補として考えている銀座資生堂内の花椿ホールとその後の賀詞交歓会の会場候補を下見した後、3月後半の委員会でテーマ・コンセプトを議論していく予定」とのコメント。また、伊藤副理事長からは「全体のコンセプトも含めて国内交流委員会と一緒に検討していきたいと考えているが、賀詞交歓会については会場が決まってから動くことになると思う」とのコメントがあった。

第8号議案 事務局報告

渡邊事務局長より資料に基づき以下の案内・報告があった。

- ① 本日の理事会以降の平成30年度事業計画（案）・正味財産増減計画（案）と平成29年度事業収支決算の作成・承認に関するスケジュールについて
- ② 公益法人協会との面談内容
 - ・JPDA大賞コンペティションに会員の出品者に向けた「JPDA賞」を追加する件については、会員のみを対象とした賞を加えるのは公益目的に問題ありとのアドバイスあり。
 - ・60周年積立金を取崩すことについては、60周年に向けた準備のための費用(公益費用)であることが明らかであれば2020年以前に取崩すことは可能。但し、事前に理事会での承認が必要となるとのこと。
 - ・「デザイン学校」設立を視野に入れた各種セミナー事業の実施に関しては、内閣府に対して収益事業の追加申請が必要になるとのこと。これについては内容を精査し、別途追加申請するべく検討していくことになった。
- ③ 次年度（4月以降）の理事会資料について
 - ・現在の紙ベースの議案書を当日配布する形（欠席者には後日議案書を郵送）をあらため、事前にPDFで全役員にメールで案内し、各人が必要に応じてコピーを持参するようになりたい。
 - 議事録（現在は全役員に郵送）についても同様、メールでの送付にしていきたいが、年1回の総会関連書類に関しては、休眠会員との貴重な連絡ツールとして、現在の全会員に議案書と出欠確認（欠席の場合は委任状を兼ねる）の返送用ハガキを郵送する方法を踏襲していくこととする。
- ④ 会員情報
 - ・平成28年10月より会費未納となっている有限会社オフィスキュー（東日本法人会員）に対し退会通知（3月末退会）を送付した。

第9号議案 次回理事会開催について

日時：平成30年4月18日（水）午後1時30分～5時00分

場所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室 A

東京メトロ丸の内線・南北線「後樂園」駅前

主な議題：通常の理事会議案、平成29年度活動報告・決算報告（承認事項）